



Information Attendant / Ganymede with File Search

WEB サイト編集マニュアル

2018 年 09 月 03 日

Ver 1.10

FCS – Techno

お願い

- ・本書に関する著作権は FCS-Techno社に帰属します。FCS-Technoの事前の許可なく、本書の一部あるいは全部を複写・複製、再配布することを禁止します。
- ・本書および本製品は、予告なく変更されることがあります。
- ・本製品の使用効果については一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本書にご不明な点、誤植、記載漏れ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

本書内に記載されている会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

[illegible]

目次

改訂履歴	i
目次	ii
1. 初めに	3
1.1. 本書の目的と対象読者	3
1.2. 複数アカウントを用いた導入について	3
1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境	3
2. Ganymede with File Search WEB サイトの編集	4
2.1. ログイン画面のメッセージ表示	4
2.2. ユーザーホーム画面の連絡事項の表示	5
2.3. ドキュメントダウンロードの編集	6
2.4. 仮想フォルダの非表示編集	7
3. 利用者ユーザーのログイン状況の確認	8
3.1. ログイン状況の表示画面	8
3.2. ログインユーザーの強制ログアウト	9
4. パブリックサイトの生成と削除	10

1. 初めに

Ganymede with File Search をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は、Windows Server OS に対しての本製品の導入、及び環境設定を行うに当たっての作業手順と操作方法に関する解説書です。

Windows Server の構成内容によっては本製品の導入が行えない場合もあります。

本製品の導入を実施する前に一読下さるようお願い致します。

1.1. 本書の目的と対象読者

本書の目的は、Ganymede with File Search の導入および利用を検討され、また導入する際に必要となる「**Windows Server 役割の概要**」をご理解されているユーザー様の設定支援を目的として記載しております。

- Windows Server システム管理者としてアカウントを付与されている。
- Windows IIS に関してご理解されている。
- Web サーバーの役割に関してご理解されている。
- IIS における認証方法の違いをご理解されている。
- ネットワーク環境における IIS への接続環境の構成状況をご理解されている。
- Windows フォルダおよびファイルのアクセス許可権の設定に関してご理解されている

1.2. 複数アカウントを用いた導入について

本製品の導入を実施したユーザーアカウントを、管理者アカウントとして稼働環境に対して登録を実施します。本製品の導入後は同一アカウントでの操作をお願いします。

1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境

Ganymede with File Search の推奨 OS として「**Windows Server OS**」を推奨します。

クライアント OS への導入も行えますが、稼働環境不可として導入を中止する場合があります。

- CPU : Windows Server 2008R2 がストレスなく稼働する CPU でご利用下さい。
- OS : Windows Server 2008R2 以上、64 ビット OS、尚、Server Core への導入は行わないで下さい。
- メモリー : 4GB 以上、推奨 8GB 以上
- HDD : 導入ドライブの空き容量 300MB 以上

導入ドライブ空き容量ですが、管理対象のファイル数の増加によっては更なる空き容量を必要とする場合がありますので、十分な空きを確保して下さい。

2. Ganymede with File Search WEB サイトの編集

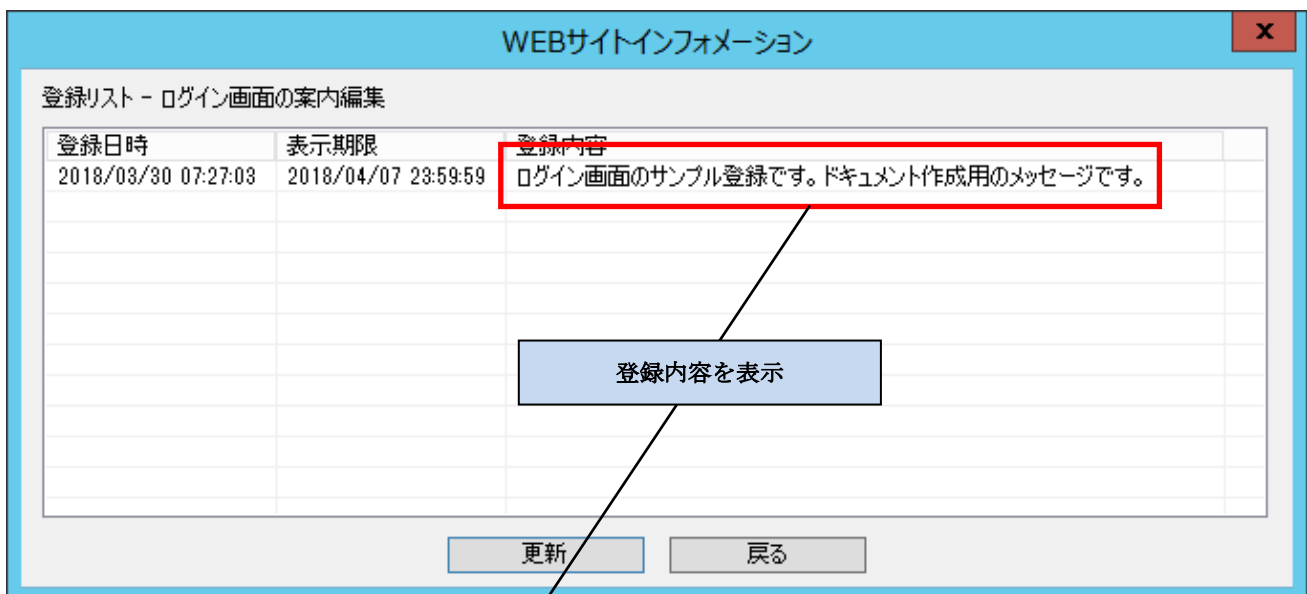
Ganymede with File Search は、WEB サイトのログイン画面、全利用者ユーザーに対する連絡事項の登録、全利用者ユーザー向けのファイルダウンロード機能を実装しています。

WEB サイトの停止連絡、全利用者ユーザーへのイベント情報の連絡、全利用者ユーザーへの文書ファイルの通読依頼、URL サイトの確認依頼等に利用して頂けるかと思います。

2.1. ログイン画面のメッセージ表示



ファイルメニュー内の「ツール/環境」 → 「Web サイトインフォメーションの確認/設定」と辿ります。



編集方法は「分類グループ編」「4.2. 連絡事項の登録画面」を参照して下さい。

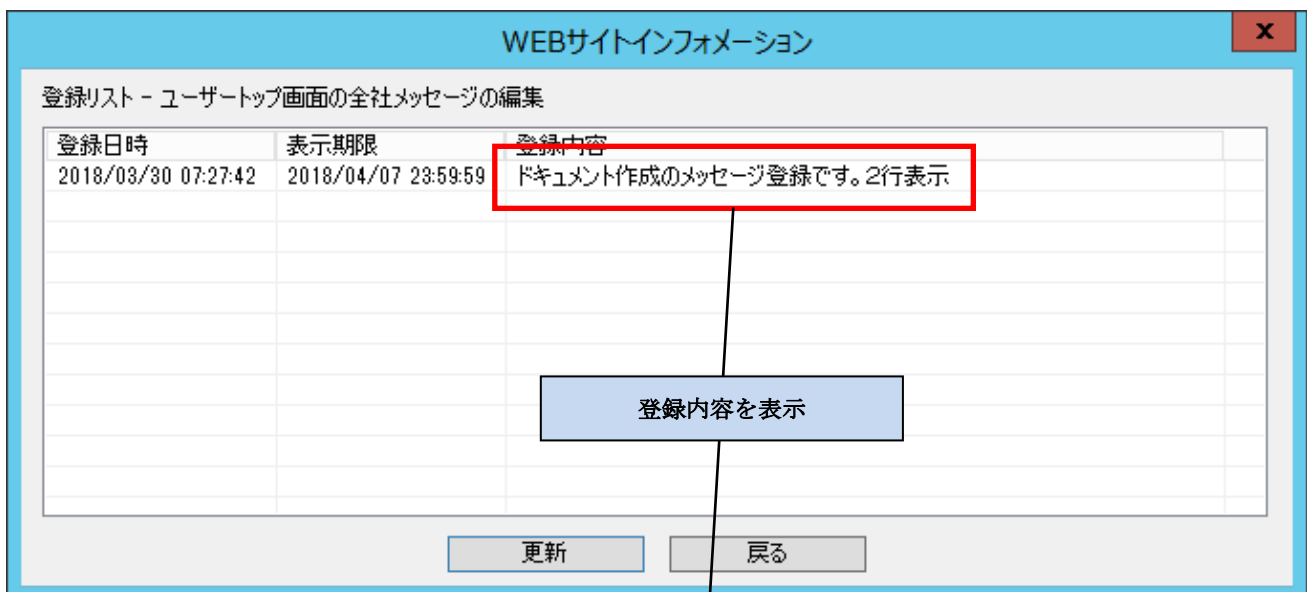
同一内容の編集方法となります。



2.2. ユーザーホーム画面の連絡事項の表示

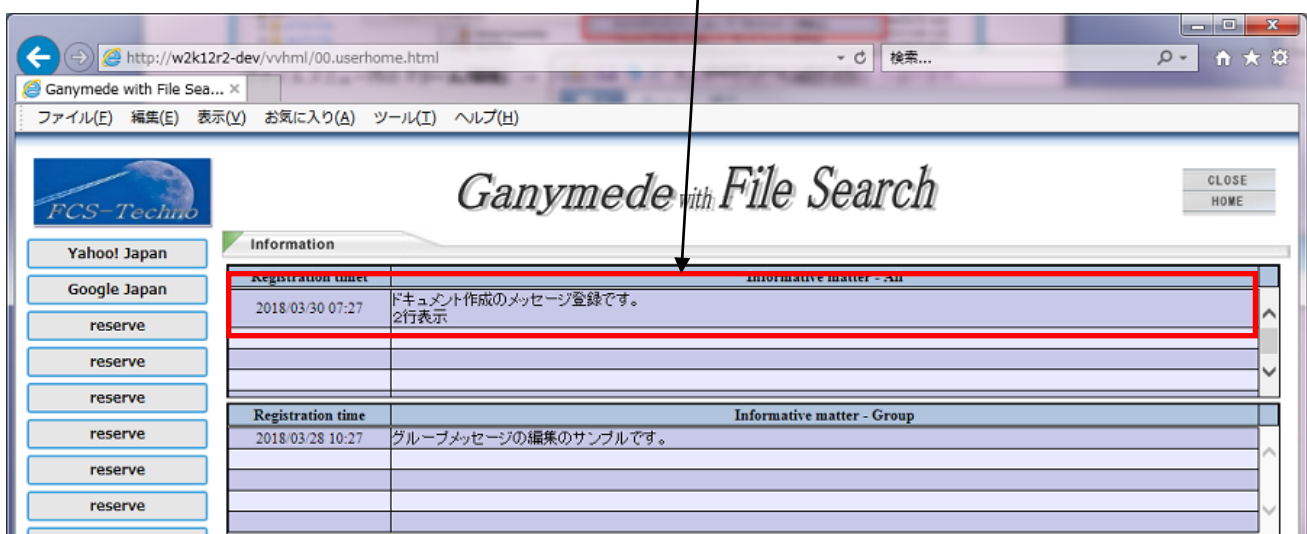


ファイルメニュー内の「ツール/環境」 → 「Web サイトインフォメーションの確認/設定」と辿ります。



編集方法は「分類グループ編」 「4.2. 連絡事項の登録画面」を参照して下さい。

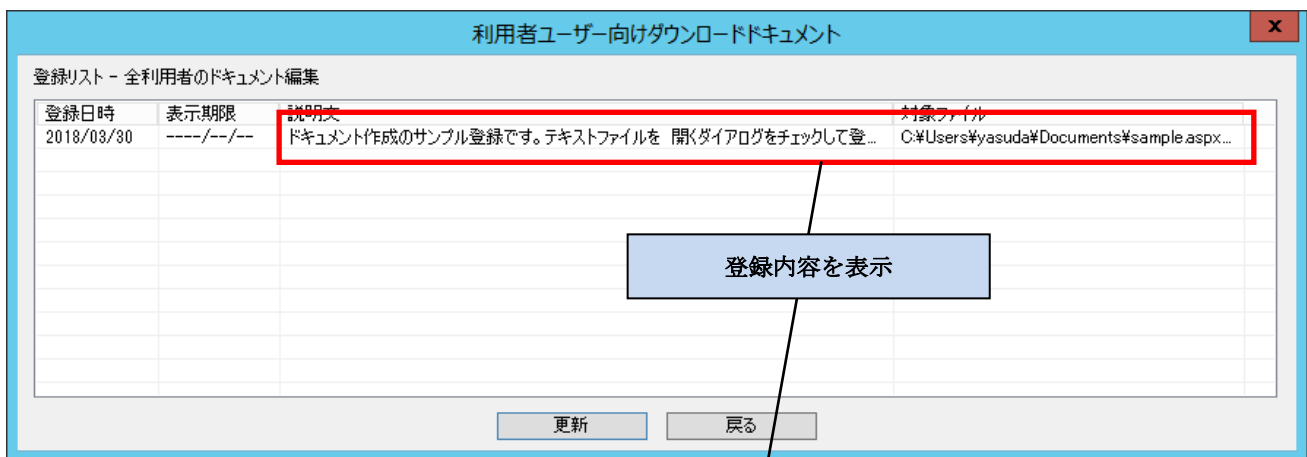
同一内容の編集方法となります。



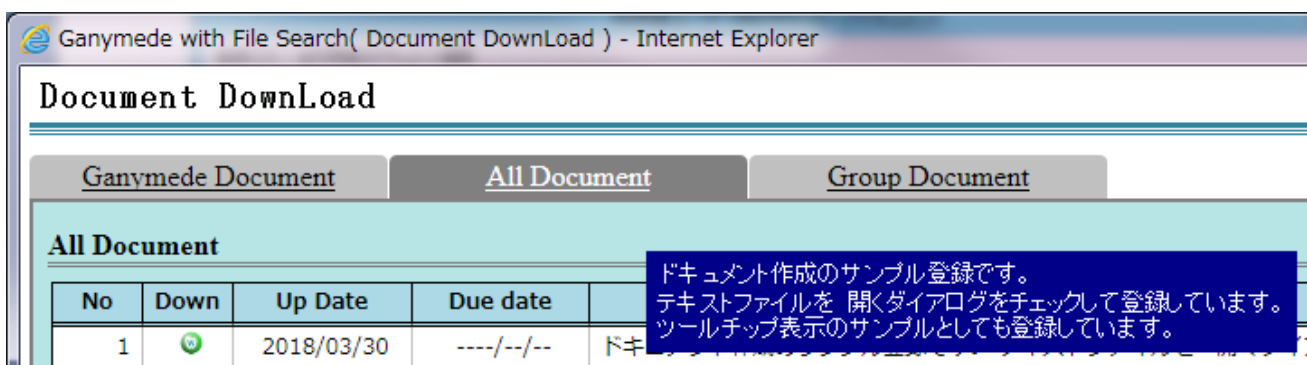
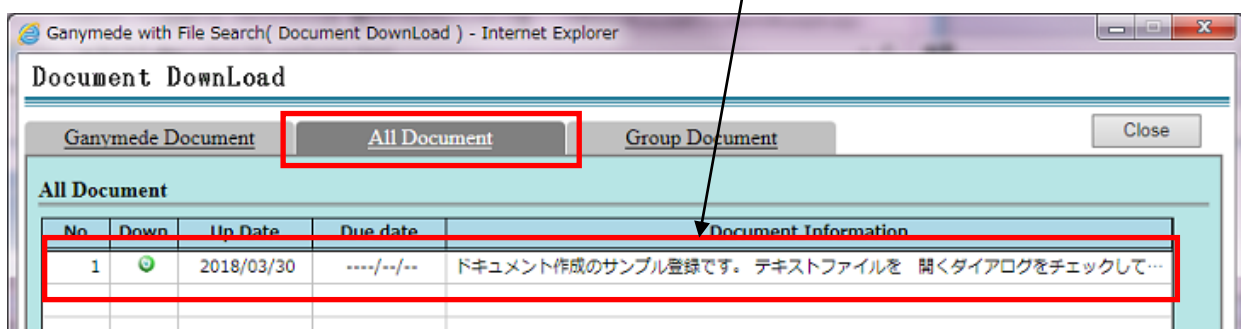
2.3. ドキュメントダウンロードの編集



ファイルメニュー内の「ツール/環境」 → 「Web サイトインフォメーションの確認/設定」と辿ります。

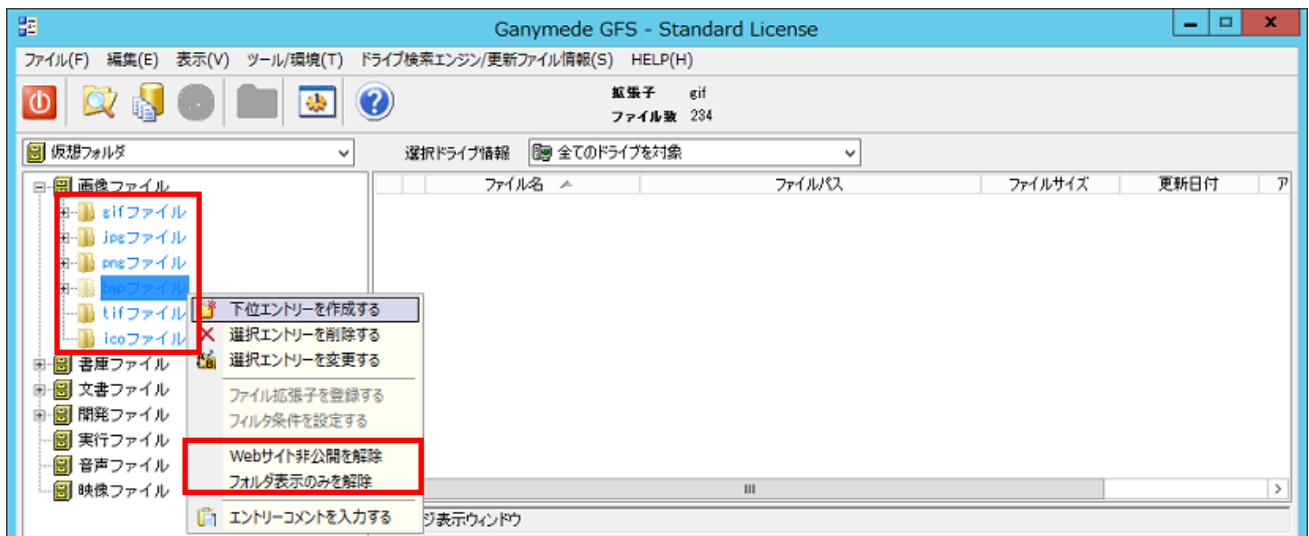


編集方法は「分類グループ編」 「5.2. ドキュメントダウンロードの編集画面」を参照して下さい。
同一内容の編集方法となります。



2.4. 仮想フォルダの非表示編集

仮想フォルダを指定した形での WEB サイトでの表示指定をサポートしています。仮想フォルダ内で特定のフォルダのみ非表示にする場合に指定して下さい。



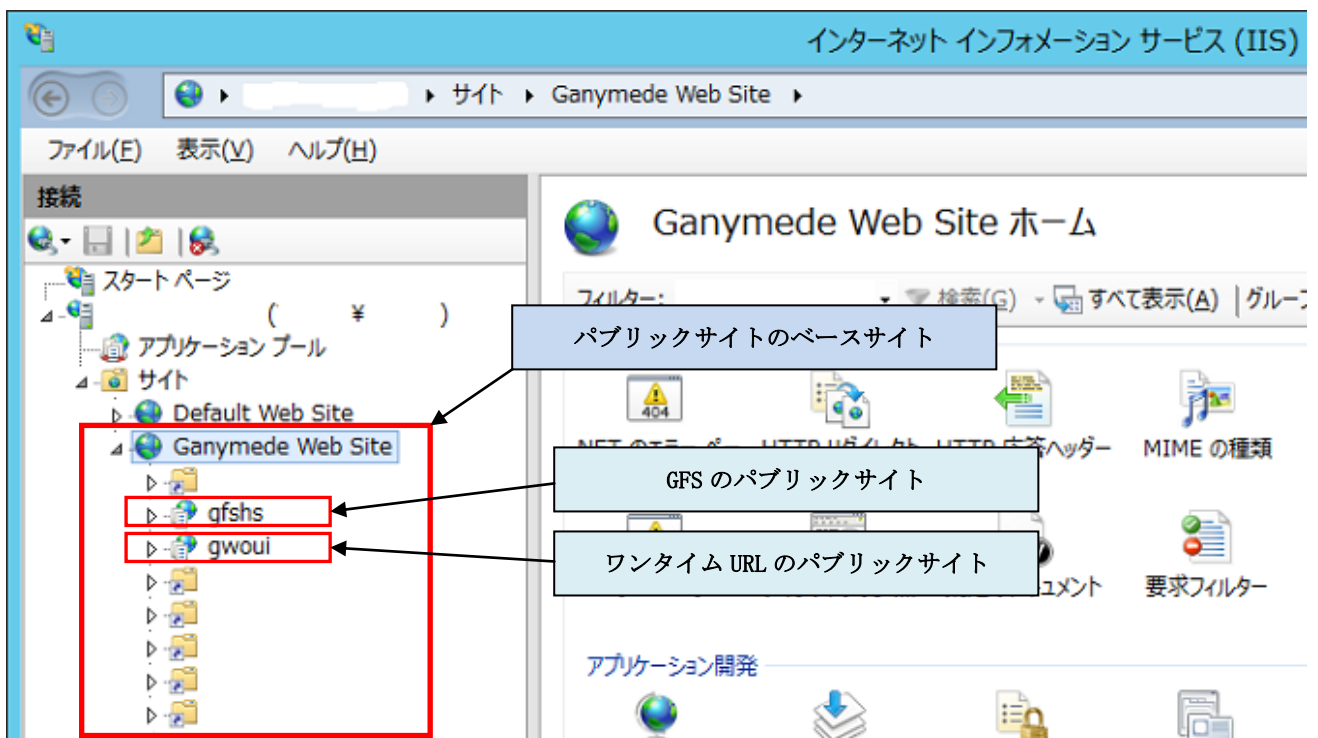
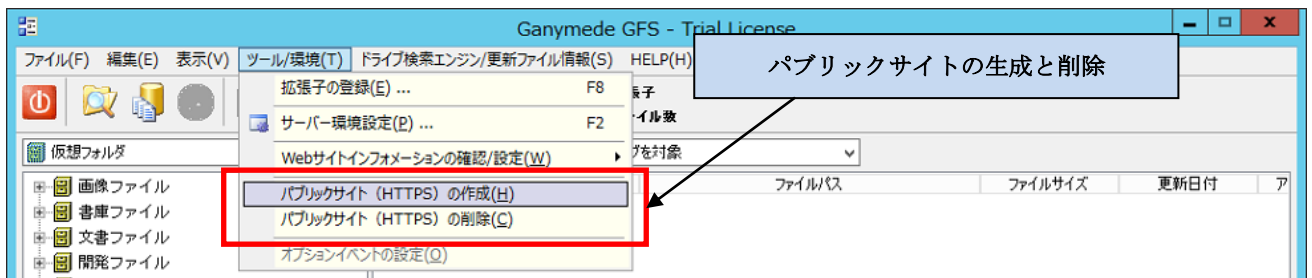
【WEB サイト非公開】

- Web サイト上で公開を取り止める仮想フォルダに対して指定します。
- 下位の仮想フォルダを含めて非公開となります。
- 管理マネージャー画面上での操作に関しては影響ありません。
- 管理マネージャー画面上では通常の仮想フォルダ扱いとなります。
- ツリービューの表示において、アイコン表示を変更して設定有りを示します。

【フォルダ表示のみ】

- リンク指定されている拡張子のファイルの表示を行わない場合に指定します。
- 仮想フォルダのみが表示され、リンクファイルの表示は行いません。
- 管理マネージャーの画面上でも同一の扱いとなります。
- ツリービューの表示において、アイテム名も文字色を変更して設定有りを示します。

4. パブリックサイトの生成と削除



「パブリックサイトの生成」を選択して下さい。上記参考画像のパブリックサイトを生成します。

- ・パブリックサイトのベースサイト名「Ganymede Web Site」、本保名称の変更は行なえません。
- ・GFS のパブリックサイト名「gfshs」、本名称の変更は行なえません。
- ・ワнтаイム URL のパブリックサイト名「gwoui」、本名称の変更は行なえません。

名称を含め、一切の設定内容の変更は不可です。尚、HTTPS 接続時のポート番号のバインド処理において正常にバインドできない場合が有ります。

上記の状況が発生した場合はメールにてお問い合わせ下さい。

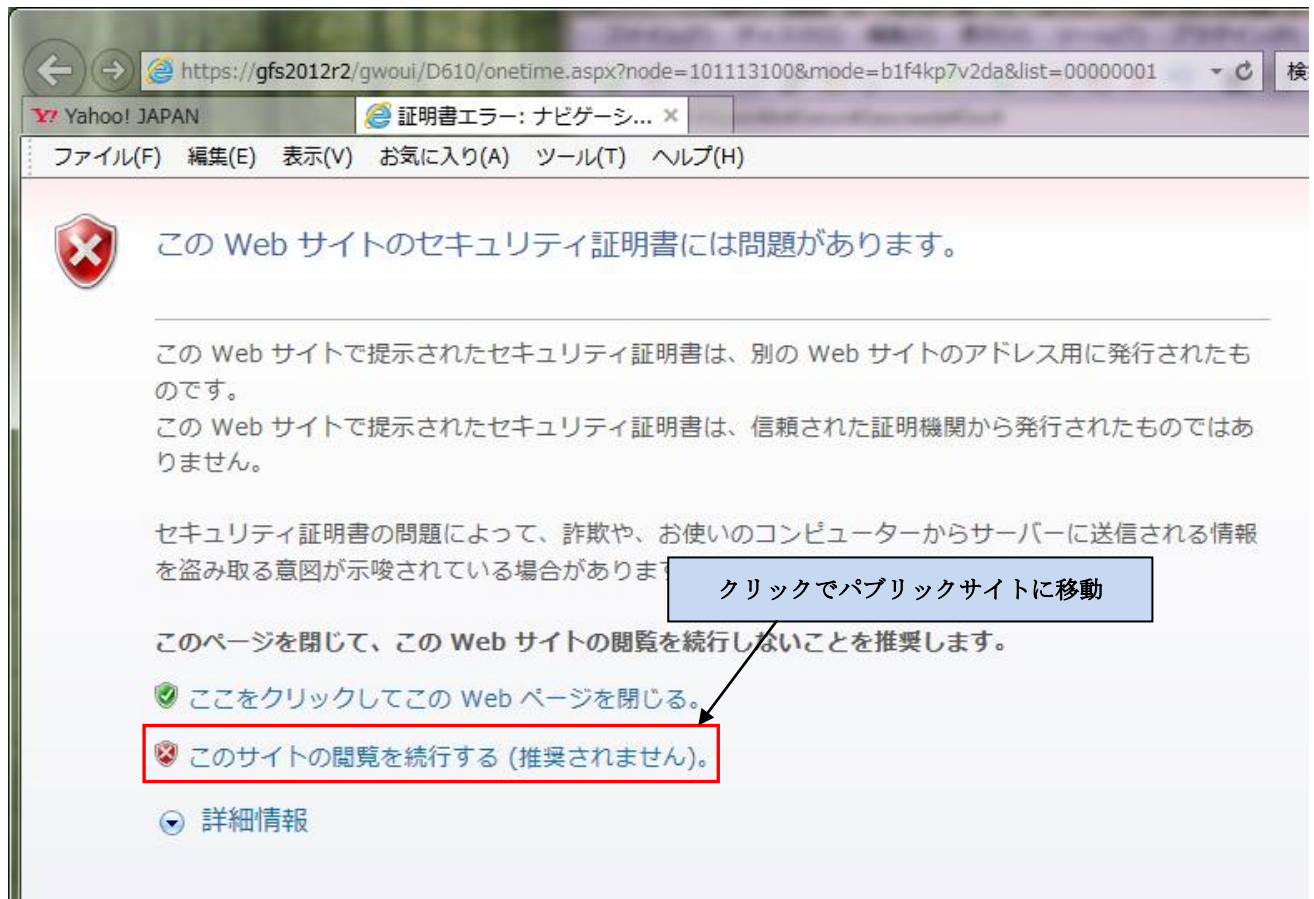
【サーバー証明書について】

パブリックサイトの登録を行う前に、事前に「サーバー証明書」のインストールを行って下さい。

「HTTPS」による接続検証を行うだけでしたら、「自己署名入り証明書の作成...」でサーバー証明書の作成は行なえます。但し、本証明書は正規の証明書ではないので「問題のある証明書」と認識されます。

作成方法は、インターネット検索で「IIS 自己証明書 作成」で検索することで、作成方法を記載しているサイトが検索されるかと思います。

パブリックサイトへの接続時に表示される警告画面（IE11 の例）



Google Chrome、Firefox においても同じ様な警告ウィンドウが表示されるかと思います。

セキュリティの問題を認識して上で閲覧を継続するを選択する事で処理は継続できるかと思います。

第 3 者機関が発行した正規の証明書のインストールを行う事を強く推奨します。